

満天 LETTER

～2013年関西インカレ情報号～

写真：大阪三大学対校戦



～目次～

1、はじめに・・・2	5、主な大会結果・・・9
2、近況報告・・・2	6、お知らせ・・・12
3、行事予定・・・3	7、近日中の試合予定・・・13
4、関西インカレ展望・・・4	8、おわりに・・・13

1、はじめに

今月号より満天 LETTER 編集係が変わり、3回増谷(基)、川上(外)が担当させていただきます。シーズン中は約月に一度のペースで満天下では伝えられない部の近況を報告させていただきますと思います。伝わりやすい文章を心がけ、頑張りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

2、近況報告

今シーズン始まって1ヶ月以上がたち、チームとしては大カレ、三大学に出場しました。大阪 IC では、ベストを出した人もいて、これからに向けて結果を残すことができた大会でした。三大学ではベストを出した人が一人しかいなかったものの、チームとしては昨年が続いて男女優勝することができました。

まだまだ今後大きな大会が続きますが、各自さらに練習に励み、チームでも団結して戦いに望みたいと思います。

そして、その大きな大会の一つでもある関西 IC が先日スタートしました。一日目に行われたロードの部には、残念ながら阪大からの出場者はおらず、京大に12点を先取されてしまいました。5月9日から始まるトラック&フィールドでこの差を追い上げ、1部昇格を目指したいと思います。

今後のご声援よろしく願いします。

3、行事予定

日程	行事名	場所
4月4日(木)～5日(金)	大阪 IC	長居第2
4月6日(日)	サークルオリエンテーション	豊中キャンパス
4月21日(日)	大阪3大学対校戦	金岡
4月24日(水)	関西 IC ロードの部	長居周回
4月27日(土)	新入生歓迎会	豊中キャンパス
5月9日(木)～12日(日)	関西 IC	長居・長居第2
6月2日(日)	名阪戦	知多
6月16日(日)～17日(月)	第1回学連競技会	西京極
6月21日(金)～23日(日)	日本学生個人選手権	平塚
7月5日(金)～23日(日)	西日本 IC	鳴門
7月27日(土)～28日(日)	7大戦	長居第2
8月9日(金)～10(土)	第2回学連競技会	長居第2
8月12日(月)	近畿地区国立大学体育大会	万博
8月25日(日)	阪神4大学対校戦	ベイコム
8月27日(火)～31日(土)	夏合宿	長野・菅平
9月6日(金)～8日(日)	日本 IC	国立
9月12日(木)～13日(金)	関西学生陸上新人競技選手権	長居第2
9月28日(土)	関西学生女子駅伝	しあわせの村
10月未定	駅伝予選会	未定
10月6日(日)	関西医歯薬	金岡
10月22日(火)～25日(金)	関西種目別選手権	長居第2
10月27日(日)	京阪神三大学新人戦	ベイコム
11月24日(日)	関西学生駅伝	丹後半島
未定	阪大陸上部 OB 戦	吹田キャンパス
12月下旬	納会	未定
未定	春合宿	未定
3月13日(木)～14日(金)	第3回学連競技会	西京極
未定	卒業生追い出しコンパ	未定

4、関西インカレ展望

短短 パート長 出口大幹

今シーズンの短短パートは好調で、多くの方がベストや、それに近いタイムを出せています。このいい流れを、さらに勢いよくして、関カレ本番に臨みたいところです。

さて短短パート男子の目標点数は 18 点です。

内訳は

100m・・・4 点

200m・・・2 点

110mH・・・8 点

4×100mR・・・4 点

となっています。

100m は、脇田(外・4)が唯一 10 秒台のベストを持っているので、まずは決勝進出し、5 位以内を目指します。その他山田(医・4)、山本(工・4)も A 標準を切っているので、本番で 10 秒台を出して複数入賞も可能な位置につけています。

200m は、21 秒台を出す実力が必要となるレベルの高い戦いになりますが、好調の山田、出口(工・4)のコンビでまずは決勝進出を狙います。

110mH は今期、後藤(工・2)が満天下にあと 0.12 と迫る自己ベスト、安田(理・2)も追参ながらもベストを出しています。ハードル陣には、後藤は十分 3 位以内を狙えるので、きっちりと点数を取ることと、安田との複数入賞に期待してください。

4×100mR は長野(M1)-山本-山田-出口で走ります。満天下更新と 3 位以内を狙って走りたいと思います。

女子ですが、今年は 100m に脇本(文・2)、4×100mR に寺田(法・1)-馬越(工・3)-櫻井(医・2)-脇本で出場します。

少しさびしいエントリーとなりましたが、関カレでは実力的に及ばない部分があるので、とにかく自己ベストと次のラウンドへ進むことを目標にがんばってほしいところです。

最近では、短短パートは弱いと言われることが多いですが、今年はいいい結果が出てきているので、いい意味で皆の予想を裏切っていきたいと思います。今年に関カレは、短短パートから流れをつくっていきたいと思いますので、応援よろしくお願いたします。

短長 パート長 奥野晃弘

○400m

秋本(理・3)が出場。昨年、大幅自己ベスト更新で 49 秒台に突入し、どんなコンディションでも安定したパフォーマンスを見せました。一冬越えてさらにパワーアップしているので、予選を確実に通過し、決勝でしっかり勝負して上位入賞を狙います。

○400mH

小間(M2)、宇畑(工・2)、山本健(基・1)が出場。標準記録がある関カレで 3 枚出場できるのは非常に心強いです。小間は練習があまり積めていませんでしたが、未だに見事なハードリングは健在です。宇畑も昨年のベストを出したときの走りが出切れれば勝機があります。山本は受験のブランクがあるが、自己ベスト 53 秒台の持ち主です。3 名とも、ベストパフォーマンスができれば予選通過、そして決勝で戦うことが出来るので、期待したいです。

○4×400mR

奥野(工・4)、原(工・4)、秋本、松山(経・3)、尾野(文・2)、北(法・2)がエントリー。今季に入り 400m の自己ベストを更新した選手も複数いて、チームとして底上げができています。大阪インカレで強いチームと戦った経験を糧に、予選から 3 分 20 秒切りを狙い、上位入賞を狙っています。最後の決勝種目なので、熱い声援を受けて全力で走ります。

中距離 パート長 田邊邦裕

【800m】

松山(経・3)、田中(工・3)、藤(工・2)が出場します。ライバルである京都大学と摂南大学が高得点を取ることが確実視されているこの種目において、差を広げられないことが 1 部昇格に向けて重要になってきます。中距離パートのエースとして各対校戦で活躍してきた松山、そして誰よりもストイックに練習に取り組んできた藤の 2 人は決勝に残る可能性が大いにあると考えています。また、田中も冬期こそ怪我で思うように練習を積めませんでした。勝負強さにおいては光るものを持っているので、チームを盛り上げる走りをしてくれると期待しています。

【1500m】

酒井(M1)、大竹(工・3)、三根(工・2)の陣容で挑みます。中長距離種目において最も多くの得点が見込めるので、この種目で取りこぼさないことが大切です。また、トラック最初の決勝種目なので、チームに勢いをつけるレースを期待しています。エースとして名実ともにチームを引っ張っている酒井はランキング 2 位につけており、優勝も十分に狙える位置にいます。三根は今シーズンに入り調子を上げており、上位入賞も可能だと考えています。そして大竹もこの二人と同等の力を持っており、持ち前の積極的なレース展開で得点を獲得してほしいと思います。

長距離 パート長 有本啓

酒井、大竹、三根が点取りの本命 1500 の後の 5000、10000 の多種目出場。連戦ではあるが 5000 は地力を発揮できれば三人とも十分に得点のチャンスはある。最終日の 10000 は最後の力を振り絞って少しでもチャンスをものにしてもらいたい。

3000 障害は森田(基・3)、吉田(経・1)が出演。森田は4月の大カレで出したベスト通りのレース運びが出来れば高得点の期待大。一回生吉田はまだベストの状態からは遠いが、関カレという大きな舞台で走り抜くことでチームの盛り上がりにも貢献してもらいたい。

今年度は中堅層が冬季の怪我を引きずったままのシーズンインとなり、特にハーフは標準切りの選手が複数名いたにも関わらず怪我のためエントリーできず、全体としても数名の選手の負担が大きくなってしまった。しかし関カレは正選手だけでなく、チームの総力戦であるからパート一丸で出場者をしっかりサポートし、阪大の一部昇格に貢献したい。

競歩 パート長 佐伯佳祐

10000mW

甲斐(M2)、佐伯(文・4)、山口(経・3)

競歩パートからは 10000mW に、佐伯、甲斐、山口が出演します。事前の持ちタイムランキングでは、それぞれ 1 位、2 位、4 位となっており、

20 点近い大量得点が期待できます。関西でも屈指の競歩大学とあって差し支えない阪大の集大成をお見せできるように、1 部の選手にも負け

ないように頑張ります。また、現在佐伯と甲斐は日本インカレ B 標準を突破中です。A 標準を切って二人で日本インカレに出場出来るかも見どころです。

跳躍 パート長 中村洋文

○走高跳

吉武(工・3)、田谷野(工・2)が出演します。吉武は入賞のために、自己ベストの跳躍を求められることとなりますが、大きな怪我をすることなくシーズンを迎えているので、大舞台での記録更新が期待されます。田谷野は今シーズン、大学ベストを連発しており、2m を跳んでの上位入賞の可能性もあります。

○棒高跳

高橋(M1)、細田(工・4)、宮崎(工・3)が出演します。高橋は今シーズンも好調で、大会記録を狙える位置につけています。細田は入賞のボーダー付近にありますが、ベストの跳躍ができれば上位に食い込むことができます。宮崎は今シーズンに自己ベストを更新しており、更なる記録更新ができれば、十分入賞できます。

○走幅跳

西田(M1)、中村(工・4)、渡辺(工・2)が出演します。西田は昨シーズンに 7m を超える跳躍をしており、表彰台に乗ることが期待されます。中村は申請記録で 11 番手であり、自己ベ

ストの跳躍ができれば入賞できます。渡辺は申請記録で2番手であり、大物を倒しての優勝を狙っています。

○三段跳

勢力(D1)、出口(M2)、渡辺(工・2)が出場します。勢力は申請記録では2位につけており、経験を生かしての優勝が期待されます。出口は今シーズン、大きく自己ベストを更新していて好調であるため、優勝争いをするようになるでしょう。渡辺も、大阪インカレで好記録を出しており、上位に入る可能性が十分あります。

投擲 パート長 徳永卓朗

砲丸投げには福井(M1)と徳永(理・4)が出場します。福井は研究室が忙しくあまり練習を積めていませんでしたが、入賞を狙える位置にいます。どれだけ体力、技術を戻せるかが上位入賞への鍵となります。一方徳永は、1m以上自己ベストを更新しないと入賞できそうにありません。ただ出場人数が少ないので、おこぼれがあることを祈って、自己ベストをめざします。

円盤投げには徳永と中澤(基・3)が出場します。徳永は持ち記録が同じくらいの選手が複数いて、それに勝てれば入賞できそうです。今季は自己ベストだしたりといい調子できているので、期待です。中澤はランキング1位で、しかも大会記録も狙えそうな位置にいます。ただ、今季はまだ結果がたせていないので、ここで今までの分も爆発させて優勝してほしいです。

やり投げには中澤と神田(工・2)が出場します。中澤はランキング1位で持ち記録だけみれば敵なしという感じです。以前から目標としている70mを投げて周囲をわかせて欲しいです。神田はランキング2位となっています。肘の故障が不安ではありますが、きっとやってくれるでしょう。

ハンマー投げは崎(外・3)と布川(工・3)が出場します。崎はギリギリ入賞できる位置にいます。持ち記録でかなりの人数がセッティングしているので、それに勝てれば上位入賞もあるかもしれません。布川は入賞するのは難しいかもしれません。この種目は阪大にとってフィールドでは最初の種目となっているので2人には自己ベストを出して阪大に波をもたらしてほしいです。

女子 女子主将 平川菜央

標準記録が導入されて2年目、各自が記録を意識してレースを重ねてきたものの、今年度も出場人数は多いといえず、またレベルの高い関西インカレでのポイント獲得は厳しい状態です。しかし、関西インカレという大きな舞台で最高のパフォーマンスをすることによ

って男子の1部昇格に加勢し、女子全体としても七帝戦優勝につながる大きな流れを作っていきたいと思っております。応援よろしく願いいたします。

100m

脇本（文・2）がB標準を突破して出場します。専門である400mよりも密かに手ごたえを感じているこの種目において、彼女は昨年秋に12秒台の好記録を叩き出しており、シーズン初戦においても既に標準を突破する走りをしています。自己記録（12'88）の更新を目標とし、サブ種目である100mでも圧倒的な存在感を見せつけてくれることを望みます。

400m

脇本がB標準を突破して出場します。大型新人として期待されながらも不調に苦しんだ1年間でしたが、冬季練習は充実していたように思われます。自己記録（58'42）、またそれに近い記録を出せば満天下記録更新、準決勝進出が見えてきますので、持ち前のキレのある走りで上位の選手にくらいついていってほしいと思います。

1500m

平川（人・4）がB標準を突破して出場します。昨年の関西インカレ1500mでは、調子を上げられず自身の記録（4'52"74）からは程遠い結果に終わりました。今年度はうってかわってシーズン初戦から好調である上、走力のレベル向上も感じられるため、序盤から果敢に攻めるレースをすればA標準（4'45"0）に迫る記録が見込まれます。

400mH

馬越（工・3）がB標準を突破して出場します。彼女は高校生の時からこの種目をメインとしており、常に誇りを持って練習やレースに臨んでいることがうかがえます。持ちタイムの大きく離れた選手もいますが、自分の走りに集中し、磨き上げた走力とハードリングを発揮して、自己記録（67'96）の更新を果たしてほしいと思います。

走幅跳

馬越がB標準を突破して出場します。器用かつ努力家である彼女は、トラックのみならずフィールド種目における活躍も顕著で、昨年の対校戦ではこの種目で優勝も果たしています。レベルの高い関西インカレにおいて、3回の跳躍でいかにベストパフォーマンスをするかが、5m19の自己記録更新への鍵となってきます。

4継

馬越、脇本、櫻井（医・2）、寺田（法・1）の4人で臨みます。短距離女子の人数不足もあ

り、新入生寺田を新たにチームに加えての今季初レースとなります。この新生チームで七帝 4×100mRを見据え、レベルの高い関西インカレをきっちり走ることで力試しをしたいと考えています。昨年からのリレーメンバー3人に関してはバトンワークも走りも申し分ない上に、寺田はこの種目で高校時代東海大会に出場したこともある実力者です。1ヶ月弱で最大限の練習を重ね、完成度の高い4×100mRを目指します。

マイルリレー

馬越、脇本、平川、櫻井、寺田、松村（外・4）から4人が出走します。冬季練習を着実に積み重ねてきた実力のある短長パートの2人（馬越・脇本）に加え、スピード強化に努めた平川、400mでも適性を見せる短短の櫻井、バネのある走りが持ち味である跳躍の松村も十分に62秒前後のラップで走ることでできる力があります。また寺田は400m61秒の自己記録を持ち、新入生の中でも最も早くから意欲的に練習を積んでいる主戦力です。マイルリレーを走る数少ない機会、4'10を切ることを目標としています。

5、主な大会結果（決勝種目もしくはポイント種目のみ、DNS・NM省略）

第61回大阪学生陸上競技対校選手権大会 4月4日（木）～5日（金）

長居第二陸上競技場にて

*男子

<1500m>

三根 亨(工・2) 3'59"72 3着 大竹 宏明(工・3) 4'03"50 12着

酒井 健(M1) 4'04"42 14着

<5000m>

大竹 宏明(工・3) 15'39"61 9着 三根 亨(工) 16'05"03 13着

<10000m>

有本 啓(基・4) 34'21"51 16着 麻生 慎太郎(基) 36'06"77 21着

<110mH>

後藤 佑介(工・2) 14"90 (-0.1) 7着

<3000mSC>

森田 崇聖(基・3) 9'36"92 4着 藤本 知志(工・2) 10'22"54 12着

<4×400mR>

脇田 和史(外・4) 山本 尚季(工・4)

山田 遼作(医・4) 出口 大幹(工・4) 42"39 7着

<4×400mR>

北 悠汰(法・2) 秋本 耕作(理・3)

尾野 礼(文・2) 奥野 晃弘(工・4) 3'25"11 8着

<走高跳>

吉武 真人(工・3) 1m75 16位

<棒高跳>

高橋 遼(M1) 4m60 5位

細田 真広(工・4) 4m20 8位

<走幅跳>

渡辺 祥(工・2) 6m92 (+0.0) 6位

西田 拓展(M1) 6m64 (-2.2) 14位

<三段跳>

出口 政孝(M2) 14m75 (+1.2) 3位

渡辺 祥(工・2) 14m40 (+0.0) 6位

<砲丸投>

徳永 卓朗(理・4) 10m16 12位

<円盤投>

徳永 卓朗(理・4) 33m86 10位

<ハンマー投>

崎 勘太郎(外・3) 40m75 14位

布川 拓未(工・3) 36m10 16位

<やり投>

中澤 密(基・3) 64m10 8位

*女子

<800m>

平川 菜央(人・4) 2'29"21 7着

<1500m>

平川 菜央(人・4) 5'02"10 8着

浅野 恵海(外・4) 5'13"89 14着

<5000m>

藤沢 祐理子(外・4) 18'35"73 7着

森瀬 奏子(法・2) 19'17"68 9着

<走高跳>

東村 果穂(人・2) 1m25 13位

<走幅跳>

馬越 茉鈴(工・3) 4m85 (-0.8) 11位

<砲丸投>

小西 由夏(理・4) 7m68 16位

<やり投>

小西 由夏(理・4) 28m95 17位

第58回大阪三大学対校陸上競技大会 4月21日(日) 金岡公園陸上競技場にて

*男子

<100m>(+1・6)

山田 遼作(医・4) 11"21 3位 脇田 和史(外・4) 11"37 6着

<400m>

秋本 耕作(理・3) 49"94 2位 尾野 礼(文・2) 52"04 6着

<1500m>

三根 亨(工・2) 4'03"00 2位 大竹 宏明(工・3) 4'04"37 3位

<5000m>

酒井 健(M1) 15'36"63 1位 森田 崇聖(基・3) 15'47"25 3位

<4×200m>

秋本 耕作(理・3) 山本 尚季(工・4)

出口 大幹(工・4) 山田 遼作(医・4) 1'29"88 2位

<走高跳>

田谷野 義季(工・2) 1m90 2位 吉武 真人(工・3) 1m80 4位

<走幅跳>

渡辺 祥(工・2) 6m76 (+2.7) 2位 中村 洋文(工・4) 6m42 (+1.9) 5位

<三段跳>

松崎 通弘(M1) 14m30 (+2.3) 2位 渡辺 祥(工・2) 13m72 (-1.3) 4位

<砲丸投>

福井 康大(M1) 11m27 1位 中澤 密(基・3) 10m38 4位

<円盤投>

徳永 卓朗(理・4) 33m55 1位

<やり投>

中澤 密(基・3) 62m86 1位 大会新 神田 直仁(工・2) 57m88 2位

男子総合 1位 阪大

*女子

<100m>(+1・4)

脇本 沙友美(文・2) 13"17 2位 馬越 茉鈴(工・3) 13"56 5位

<800m>

平川 菜央(人・4) 2'28"52 3位 後井 彩(外・2) 2'29"76 4位

<3000m>

藤沢 祐理子(外・4) 10'44"60 1位 森瀬 奏子(法・2) 11'13"45 2位

< 4 × 2 0 0 mR >

櫻井 恵子(医・2) 馬越 茉鈴(工・3)

平川 菜央(人・4) 脇本 沙友美(文・2) 1'55"35 1位

< 走幅跳 >

馬越 茉鈴(工・3) 4m81 (+1.8)2位 松村 侑海(外・4) 4m31 (+1.5) 4位

< 砲丸投 >

小西 由夏(理・4) 7m94 2位 馬越 茉鈴(工・3) 7m58 3位

女子総合 1位 阪大

6、お知らせ

阪大陸上部 OB・OG の皆様へ

OGAC 満天会幹事一同

2013 年 7 大学戦と 7 大学 OB・OG 懇親会のお知らせとお願い

今年もまた陸上シーズンが始まりました。日本レベルでは、初の 9 秒台の予感を感じさせる幕開けとなりました。わが阪大陸上部においても 5 月の関西インカレ、6 月の名大戦そして、7 月には阪大主管での 7 大学戦と活躍を期待する試合が続きます。

7 大戦は 7 月 28 日(日)に大阪長居第 2 競技場で開催します。(前日 27 日に同会場でオープンの部を開催:<http://www.nagai-park.jp/stadium2/index.html>)是非現地での熱い応援をお願いいたします。皆様の応援で現役学生を少しでも後押ししていただき、地元での優勝を勝ち取らせたいものです。また前日の夜には以下の予定で、恒例となった 7 大学 OB・OG の懇親会も開催します。過去地元開催の場合ホスト校では、50 名前後の OB・OG が参加しておられます。大阪でも従来の他校を上回る参加者で、懇親会から他校を圧倒していきましょう。是非旧友同士お誘いあわせの上、ふるってご参加をお願いいたします。

<7 大学 OB・OG 懇親会の日程>

7 月 27 日(土) 18 時より 場所:KKR ホテル大阪 (最寄駅 森ノ宮・谷町 4 丁目)

<http://www.kkr-osaka.com/other/access.html>

会費:6,000 円を予定

以上

7、近日中の試合予定

5月9日(木)～12日(日) 関西 IC (長居第1・第2陸上競技場)

6月2日(日) 名阪戦(知多)

8、おわりに

次号は、関西インカレの結果をお伝えする予定です。

阪大陸上部公式ホームページも随時更新しております。大会結果、部員名簿等を掲載しておりますので、ぜひそちらもご覧ください。また、OB掲示板も開設しております。情報交換の場としてお役立ていただければ幸いです。

公式ホームページ <http://www.osaka-u-athlete-club.com/index.html>

OB掲示板 <http://jbbs.livedoor.jp/school/25842/>

記載内容についてのご意見、また配信停止の御希望等ございましたら、
満天 LETTER 編集係 manten.letter2010@gmail.com までご連絡ください。

満天 LETTER2013 年関西インカレ情報号

発行 大阪大学陸上競技部

大阪府豊中市待兼山 1-1

発行日 平成 25 年 5 月 8 日

編集責任者 増谷賢吾

川上小百合